



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第106号 2021年11月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

米も芋も大豆も順調に育ちましたが...



里山探検隊子どものお手伝い

今年の秋は、久しぶりに穏やかに農作業を進めることができました。稲刈り5日目の最終日は雨でしたが、谷戸生え抜きなまぬきの小学生たちが元気にはさがけなどを手伝ってくれました。当会目玉の野菜も米も、早く谷戸のかまどでワイワイと賞味したいですね。もう少しの辛抱でしょうか。

お知らせ

秋の谷戸まつり 11/28(日) 10:00~13:00

場所：野外生活体験広場(荒天中止)

炊き出しはございません。

頒布コーナー

新米・正月飾り・わら細工・根菜類

体験コーナー

正月飾り作り・ノコギリ体験



マスク着用にてご来園ください。コロナ感染症拡大防止策を行っています。ご協力をお願いいたします。

農具の寄付

山崎の谷戸の昔話や竹細工のご指導などでお世話になった、故梅沢薫氏のご家族より農具を寄付していただきました。もう手に入らないであろう貴重な品々ばかりです。昔ながらの作業を思いながら保全活動に活かしていきます。



近年、災害が多発して、がけ崩れや倒木が多くなりました。一昨年からナラ枯れ病の流行でコナラの大木が枯れています。林の荒廃を嘆く声も聞かれますが、雑木林が若返るよい機会と感じます。倒木の処理が大変ですが、生態系から見ると、倒木や枯れ木が出た後の草木の再生の様子が気になります。木が倒れたり枯れると日当たりがよくなって草木が生えてきますが、そのまま昔のような雑木林になるわけではありません。カラスザンショウやアカメガシワなどの落葉樹が真っ先に生えてくる場合が多いようです。これらは昆虫や野鳥にとっては役立つ木ですが、倒れやすい木なので放置すると危険なこともあるのです。倒木の跡地を放っておいたままでは、昔の雑木林で大切にされてきたクヌギや、鎌倉の雑木林の特徴であるヤマザクラは育ってきません。昔の人は役立つ木を育てるために、その他の木は畑の雑草を抜くように除去してきたのでしょう。これからは、倒木の跡地を手入れしてクヌギやヤマザクラの苗を植えるなどの作業も大切なのではないのでしょうか。また、緑地によっては荒廃した竹林の手入れや伐採が進められており、同じような状況になっています。現在の鎌倉では、荒れた雑木林の手入れを広範囲で実行することが難しい現実がありますが、倒木跡地やナラ枯れの周辺部から雑木林を再生することも考えてみてはどうでしょうか。生態系班でも倒木跡地の観察調査を進めていきたいと思います。

●谷戸の自然の様子

例年、お彼岸には赤トンボ（アキアカネ）が高原から谷戸（里山）に下りてきて、稲刈りが終わった田んぼで産卵しますが、今年は10月上旬になっても姿をほとんど見かけず心配です。今年は、赤トンボが来るのが遅れているのか。それとも極端に少ないのか？この会報が読まれる頃には答えが出ていることでしょう。赤トンボと同じく、稲刈りの頃、山から谷戸に下りてくる野鳥として有名なモズも、今年は鳴き声をあまり聞きません。近年減少していると言われていますが、その影響でしょうか。

谷戸往来

特別講座 キ/コ講座開催 9/19(日)

会員の清田さん講師にてキ/コの魅力を学びました。谷戸の珍しい個体を観察し、危ないもの、美しいもの、そして美味しいキ/コが紹介されました。身近でちょっと手ごわいキ/コ話に盛り上がりました。

青空自主保育なかよし会 保全活動 10/24(日)

疎林広場の畑に小麦の種を蒔きました。堆肥を混ぜ込み耕し、来年の田植えの頃には黄金色の小麦が並ぶのを思い描いて、一粒ずつ丁寧に蒔きました。

体験学習

深沢小5 稲刈り

最初とくらべて、稲がすごくでかくなってびっくりしました。米が白いところしかみることがないから、こんな感じで最初はお米が茶色なんだって初めてしました。

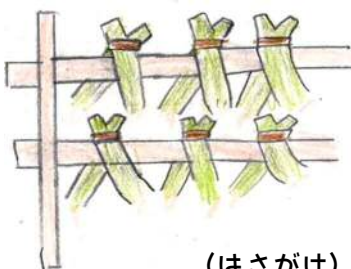


やっていくうちにどんどんたのしくなって、あっという間に稲をかってしまつて「あー楽しかった」と「もっと稲をかりたかったなー」いう2つの気持ちがありました。

富士塚小5・稲刈り

初めてかまを使ったので、少しこわくもありました。でも、ザクッときれると気持ちがいいので、楽しかったです。

(のこぎり鎌)



(はさがけ)

選別はものすごく地道な作業だなと思いました。でも、これでおいしいお米ができるんだと思いました。からはいっぱいあって、大変でした。

体験学習予定

深沢小5年 11/8、12/23
富士塚小5年 11/8、12/6
教育支援教室ひだまり 12/1
Largo 11/24

各班のお知らせ

田んぼ班

今年も稲刈りが終了しました。5 日間で延べ 100 人以上の方々の参加協力で、楽しい収穫作業でした。春からの田んぼ作業は谷戸の会ホームページの動画で振り返ることができます。どうぞご覧ください。



 10/18 さつまいも収穫

雑木林管理班

一昨年は台風、昨年はナラ枯れ、そして今年は夏の大雨など、雑木林の生長を左右することが毎年発生しています。木々の状況を確認し、今期の除間伐計画を立て、作業を進めていきます。

畑班

先輩の引退を受け、初めて苗床作りから任されたさつまいも栽培。伏せ込みから苗取りまでの関門をなんとかクリアし、植え付け、草取り、つる返しは例年どおり。今年の収穫はやや少ないが、思い出深い。



 10/20 梅の剪定

農芸班

「桜切る馬鹿梅切らぬ馬鹿」梅の剪定は非常に重要だそうです。ベテラン会員の方に指導いただき、花芽に注意しながら切り落としてもよい枝を判断し、作業を行いました。風が通り樹形も美くなりました。



 10/20 エンマコロギのための畑の手入れ

生態系保全班

草で覆われた所は、エンマコオロギの姿が減りました。想像以上に環境に左右されると実感しました。裸地を意識しながら手入れをすることが必要です。油断せずカナムグラの除去にも力を入れていきます。

自然遊び班

雨の中でしたが、里山探検隊では、稲刈りにはさがけをがんばりました。★いねは、重かった。ひとつにつき何こつぶがなるのか知りたい(小 4)★一りんしゃをはこぶのがたのしかったです(小 2)

植物育成班

野草畑の手入れは、野草を見分けながら雑草を除去します。大切なリュウノウギクを刈ってしまいました。しかし根があれば生き残ってくれます。失敗しても何とかなり、その後を見守るのも楽しいです。

11月

- 3日(水・祝) 田 粃干し、溝切り、畔土寄せ
子育て懇談会主催
「谷戸で遊ぼう!さといもとどろんこ」
- 6日(土) 田 粃すり・精米、わら切り
- 7日(日) 田 粃すり・精米、わら切り ♣
雑 雑木林の除間伐
自 こども里山一日体験「さといも掘り」▶
- 8日(月) 畑 たのくろ豆の収穫・吊るし干し ☆
- 10日(水) 生 野鳥観察入門 ♣
- 14日(日) 田 粃すり・精米、わら切り
雑 雑木林の除間伐 ♣
- 15日(月) 畑 さといも掘り・洞入れ ♣
- 17日(水) 農 たのくろ豆殻出し・選別 ♣
- 21日(日) 田 粃すり・精米、わら切り、落ち葉かき☆
自 父と子の里山体験 ▶
- 24日(水) 畑 さつまいもの洞入れ
- 28日(日) 秋の谷戸まつり 10~13時
畑 たまねぎの苗植え、にんじんの収穫

12月

- 1日(水) 畑 大根の収穫・洗い・干し ♣
生 冬の野鳥観察 ♣
- 5日(日) 田 落ち葉かき、苗床耕し、
土ふるい ☆
雑 雑木林の除間伐 ♣
- 12日(日) 田 粃殻くん炭、正月飾り作り ♣
畑 落葉かき、土壌改善 ♣
雑 雑木林の除間伐 ☆
自 里山探検隊
「やきいも、谷戸あるき」
講座「正月飾り作り」☆
- 13日(月) 畑 冬蒔き大根の種蒔き ☆
- 15日(水) 農 たくわん漬け ♣
- 19日(日) 田 粃殻くん炭
雑 雑木林の除間伐 ♣
- 26日(日) 雑 雑木林の除間伐

1月

- 9日(日) 田 粃殻くん炭、堆肥切り返し ♣
雑 雑木林の測定・調査 ♣☆
- 12日(水) 畑 畑の整備
- 16日(日) 田 粃殻くん炭、堆肥撒き
雑 竹の伐採
自 里山探検隊「竹細工」
- 17日(月) 畑 荒おこし ☆
- 23日(日) 田 粃殻くん炭、堆肥撒き、
土壌改善 ☆
畑 じゃがいも畑の耕し ♣
雑 間伐材整理 ♣
講座「雑木林の管理」☆
- 30日(日) 田 粃殻くん炭、苗床耕し ♣
雑 雑木林の除間伐

今後の情勢によって中止や延期の可能性があります。
ホームページ、または事務所にご確認ください。

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験
各班活動 農家風休憩舎 9:30 集合
(農芸班、自然遊び班は、10時)
▶ 会員以外の方 参加費500円/組

田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班
農：農芸班 自：自然遊び班
生：生態系保全班 植：植物育成班
植：植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時~16時

ホームページ : <https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

- 次号(会報107号)は、2022年1月に発行予定
- 会費 郵便振替口座番号 00270-6-115647

